

九州高等学校文化連盟

第1回全九州高等学校総合文化祭沖縄大会放送部門

第39回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 沖縄大会 実施要項

1. 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2. ねらい

- ア. 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて、話す力、表現する力を高める。
- イ. 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- ウ. 学校生活の中にうらおいをもたらす、心のふれあいの場をつくる。
- エ. 現代社会における人としてのあり方、生き方を学ぶとともに、放送のはたす役割を考える。
- オ. 九州地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

3. 主催 九州高等学校文化連盟 沖縄県高等学校文化連盟

4. 共催 NHK沖縄放送局

5. 主管 九州高等学校文化連盟放送専門部 沖縄県高等学校文化連盟放送専門部

6. 大会会場 浦添市てだこホール 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間 1-9-3 TEL 098-942-4360 FAX 098-942-4338

7. 大会宿舎

宿泊の手配は、各県の高文連、または各県の専門部で行ってください。
宿泊等に関するお問い合わせは、下記へお願いします。

株式会社農協観光 Ntour 沖縄支店
〒900-0024 那覇市古波蔵 3-7-25 萬進ビル 1F
TEL: (098) 831-5325 FAX: (098) 831-5327
営業日: 月曜日～金曜日 (祝日は除きます) 営業時間: 午前9時～午後5時30分

8. 問い合わせ先

担当 沖縄高等学校文化連盟放送専門部
第39回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会
事務局長 當間 長 (とうま ひさし)
〒901-2111 沖縄県浦添市経塚 1-1-1 沖縄県立浦添工業高等学校内
TEL 098-879-5992 FAX 098-875-4764
E-Mail toumahs@open.ed.jp

9. 大会日程

平成29年12月15日(金)～17日(日)

日	時間	概要	会場
15 (金)	15:00～18:00	総合受付	
	16:00～17:30	運営委員会	1F 多目的室2
	17:30～18:30	審査委員会	2F 多目的室1
16 (土)	9:05～9:25	出場受付 (アナウンス・ラジオ番組・テレビ番組)	2F 大ホールホワイエ
	9:35～9:55	開会行事・開会のことば ・主催者挨拶・来賓挨拶 ・レプリカ授与 ・諸連絡	2F 大ホール
	10:10～13:20	アナウンス部門準決勝	2F 大ホール
	10:30～17:00	ラジオ番組部門準決勝	2F 小ホール
	10:00～17:10	テレビ番組部門準決勝	1F 市民交流室
	12:50～13:10	出場受付 (朗読)	2F 大ホールホワイエ
	13:40～17:10	朗読部門準決勝	2F 大ホール
	17:30～18:20	校内放送活動研究集会①	2F 大ホール
19:30～21:30	校内放送指導者協議会	那覇市内(予定)	
17 (日)	8:00～	決勝進出者・決勝進出作品発表	http://www.hoso-as.open.ed.jp
	9:05～9:30	決勝出場受付	2F 大ホールホワイエ
	9:50～10:50	アナウンス部門決勝	2F 大ホール
	9:50～11:50	ラジオ番組部門決勝	2F 小ホール
	9:50～12:00	テレビ番組部門決勝	1F 市民交流室
	11:00～12:10	朗読部門決勝	2F 大ホール
	12:30～13:00	講評(校内放送活動研究集会②)	2F 大ホール
	13:00～13:30	閉会行事 ・成績発表ならびに表彰 ・主催者挨拶 ・次期開催県挨拶(鹿児島県) ・閉会のことば	2F 大ホール
	13:30～13:40	諸連絡	

10. コンテスト実施各部門ならびにエントリー数

部門	エントリー数	決勝進出数
アナウンス	72名(各県8名 但し福岡県及び開催県は12名)	20名程度
朗読	72名(各県8名 但し福岡県及び開催県は12名)	20名程度
ラジオ番組	40作品(各県5作品)	10作品
テレビ番組	40作品(各県5作品)	10作品

11. 表彰

	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
優勝	1名	1名	1作品	1作品
	優勝杯、賞状			
準優勝	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー、賞状			
第3位	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー、賞状			
優良賞	各部門決勝進出17名程度		各部門決勝進出7作品	
	賞状			
奨励賞			各部門5作品程度	
			賞状	
入賞（全参加者）	全エントリー			
	賞状			

12. 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と九州各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。

13. 各部門の課題・参加規定

(1) アナウンス部門

①自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限定。

②エントリー番号、氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。

※学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名を読む。

③審査基準

(a) 校内放送に使用する内容であること。

(b) 審査の視点

内容

(ア) 素材の選び方は適切であるか。

(イ) 文章表現は適切であるか。

アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。

・内容把握 ・イントネーション ・プロミネンス ・アクセント

(ウ) 間(ポーズ)は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(エ) 元気があり、明るく演じるものは良いが、歌い上げ・作り声・バスガイド調などの、不自然なアナウンスは高く評価しない。

(c) 採点…点数は100点法で総合的に採点する。

(2) 朗読部門

①次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	沖縄 若夏の記憶	僕は、そして僕たちは どう生きるか	猫を抱いて象と泳ぐ	太陽の子
著者名	大石 芳野	梨木 香歩	小川 洋子	灰谷 健次郎
出版社	岩波現代文庫	岩波現代文庫	文春文庫	角川文庫

②エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含め、1分30秒以上2分00秒以内で朗読する。

※学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名、作者名、作品名を読む。

※作品番号1については、書名を読み、章名は読まない。

※抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は変更とみなす。本文中の()内も読むこと。(読み仮名・訳者注を除く)

※作品番号4の書名の読みは「たいようのこ」「てだのふあ」「てだのふあ」のいずれも可とする。

③審査基準

(a) 審査の視点

内容

(ア) 作品の選定は適当であるか。

(イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

朗読の技術

(ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。

・内容把握 ・イントネーション ・プロミネンス ・アクセント

(ウ) 間(ポーズ)は適切か

・テンポ ・ポーズ

(エ) ラジオドラマ調、演劇調、一人芝居調などが過度に演出されているものは高く評価しない。

(b) 採点…点数は100点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス・朗読に共通する事項

①原稿3部を**12月1日(金)**までに提出する。

規定用紙(様式1-1・1-2)を使用し、袋とじ(仕上がりA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は、第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

②提出された原稿は返却しない。

③準決勝、決勝ともに、各自の原稿の他に課題原稿を加える。

(4) ラジオ番組部門

①作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。

②作品提出するメディア(媒体)、データの形式は以下のとおりとする。

・CD-R・CD-Audio形式とする。トラックは1つのみで作成すること。

・**審査用とバックアップ用をそれぞれ別々のケースに入れ、ラベルを貼って受付時(12月15日)に別途提出する。**

③番組の最後には「制作は〇〇高等学校放送部(委員会)でした。」というクレジットコールを入れる。

④計時は、最初の音から、クレジットコールの終わりまでとする。

⑤クレジットコールには、音楽などの他の音声がかぶってはならない。

⑥審査基準

(a) 校内放送に使用する内容であること。

(b) 審査の視点

テーマ（伝えたい内容）

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

制作技術

- (ア) メディアの選択は適切か (イ) 制作方法 (ウ) 取材の方法や努力 (エ) 企画・構成
(オ) 演出・編集 (カ) 音声や効果音の使い方 (キ) 内容伝達力 (ク) 番組進行表の作成
(c) 採点・・・点数は100点法で総合的に採点する。

(5) テレビ番組部門

- ①作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
- ②作品提出するメディア（媒体）、録画方法、データの形式は以下のとおりとする。
 - (ア) ハイビジョン形式・・・BD-R（BD-RE形式・MPEG-2またはMPEG-4 AVC/H.264）とする。メニューは入れないものとする。1080i、720iいずれも可。
 - ・BD-Rは、必ず「クローズ（ファイナライズ）」処理をして追記できないディスクにすること。
 - (イ) SD形式・・・DVD-R（DVD-video形式）とする。メニューは入れないものとする。
 - ・家庭用ハードディスクレコーダー等で作成されたDVD-videoの場合は、必ず「クローズ（ファイナライズ）」処理を行うこと。
 - ・アスペクト比は16:9（ワイド）とする。
 - ・規定のテストパターン（様式規定3参照）（本大会ホームページよりダウンロード可）を作品の前後に、5秒間ずつ使用する。
 - ・**審査用とバックアップ用をそれぞれ別々のケースに入れ、ラベルを貼って受付時（12月15日）に提出する。**
- ※提出するBD-RまたはDVD-Rは、データの互換性に留意の上、作成した機器のみでなく市販のプレーヤー等複数の機器で再生できることを確認の上、提出して下さい。
- ③計時は、テストパターンを除いた部分（本編）についておこなう。
- ④テレビ局等の第三者が撮影した素材が主である作品は失格とする。
- ⑤審査基準
ラジオ番組に同じ。

(6) ラジオ番組・テレビ番組に共通する事項

- ①高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。
ドラマ調の場合には、出演者は自校生徒に限る。
- ②番組進行表・作品の提出日
 - ・番組進行表1部（郵送）・・・**12月1日(金)必着**
表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。ラジオは「赤」、テレビは「青」とする。
 - ・作品・・・**12月15日(金)**に持参し、受付時に提出する。
- ③提出メディアは、出品作品のみを記録すること。（メニューを入れない）
- ④提出メディアは、誤録防止のための処置をする。
（例）クローズ（ファイナライズ）処理など。
- ⑤ケースの表に、規定に準じたラベルを貼付する。（様式規定2参照）※自作可能
CD-R・DVD-R・BD-R各メディア本体については、シールを貼らずにディスクに直接、項目（※様式は本大会ホームページからダウンロード）を印字するか、項目（①部門名、②エントリー番号、③県名、④学校名、⑤作品名、⑥メディアの種類、）をプリンターで直接印字するか、ペンで手書きをする。
バックアップには「バックアップ」と明記する。（様式規定2参照）
- ⑥作品の題名は副題も含めて15文字以内とする（厳守）。
※作品名が英字のみの場合は、半角文字で30文字（スペース含む）まで可とする。
- ⑦作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、確実に著作権、著作隣接権処理を済ませておくこと。特に音楽は、自作自演、もしくは著作権フリーの楽曲を用いるのが望ましい。著作権を伴う著作物については、その一覧を番組進行表末尾に添付する。
※いわゆる著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。

ただし、NHK クリエイティブライブラリー、アーキー（Free Sound Effect の素材）及びEX インダストリーについてはその限りではない。

- ⑩JASRAC への手続き及び支払いは各校でおこない、その書類の写しを番組進行表末尾に添付し提出する。
- ⑨応募された参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）と主催者に共同して帰属する。詳細に関してはNHK杯全国高校放送コンテストの規定に準じる。
- ⑪決勝では、作品再生前に代表生徒が登壇し、学校名と作品名のみ発表する。
- ⑫番組進行表は、NHK 杯に準ずる形で作成し、1部提出する。
 - ・ 1 頁（様式4-1）…学校名・作品名・タイム・制作意図（200 字程度）・スタッフ・キャスト
 - ・ 2 頁（様式4-2）…CUEシート 必要枚数を綴じ合わせる。
 - ・ 3 項（様式4-3）…使用著作物一覧
 - ※必要に応じて、様式4-4…音源使用許諾・4-5…取材・著作物提供許諾
 - ※必要に応じて、著作権処理確認資料（右上に著作物番号を朱書きする）
- ⑬番組進行表に記載した制作意図は、所定の様式（本大会ホームページよりひな形をダウンロード）に各県事務局がまとめて入力して提出する。
- ⑭返却
作品・番組進行表は返却しない。

14. 参加資格

- ①開催年の12月現在、九州各県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品であること。
- ②各部門への参加は、各県高等学校文化連盟放送専門部の推薦によるものとする。
- ③アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。
- ④番組部門への参加は、1校1作品とする。ただし、各県大会までの参加は1校1作品に限定しない。
- ⑤他のコンテストに出品した作品は参加できない。また、当コンテストに参加した作品を他のコンテスト等へ出品することは認めない。

15. 参加申込

- ①申込は各県事務局が一括して本大会実行委員会事務局へ提出する。
※学校・個人からの個別の受付はございません。
- ②各県事務局は、本大会ホームページからひな形をダウンロードし、必要事項を入力して、**11月24日（金）17:00**までにメールに添付して提出する。
- ③番組制作意図のデータは、**12月1日（金）17:00**までにメールに添付して提出する。
- ④申込には、別紙のエントリー番号を使用する。

16. 研修資料代、著作権に関する使用料他

- ①JASRAC への支払い手続きについて
九州大会事務局の一括申請はございません。各校でそれぞれ支払いをおこなってください。
- ②開会式後の移動について
全九州高等学校総合文化祭事務局が指定したバスで大会会場へ移動することができます。利用に関しては別途案内をご覧になり、農協観光へお申し込みください。
- ③宿泊・弁当等について
 - ・本大会の宿泊業務取り扱い、農協観光が行いますが、基本的には各県で申し込み及び入金処理をしてください。
 - ・弁当の注文受付は農協観光が行います。別途案内をご覧になり、各県・各校で直接申込をして下さい。

※諸締切日のまとめ

提出締切日 (必着)	提出するもの	提出方法	
		【郵送又は持参】	【メール添付】
11月24日(金)	各県からの参加申込		○
12月1日(金)	アナウンス・朗読原稿3部	○(郵送)	
	番組制作意図のデータ		○
	番組進行表1部	○(郵送)	
12月15日(金)	番組作品及びバックアップ	○(持参)	

17. エントリー番号表 沖 縄 鹿児島 宮 崎 熊 本 長 崎 大 分 佐 賀 福 岡

	アナウンス部門	朗読部門	ラジオ番組部門	テレビ番組部門
沖 縄	4・9・12 20・24・31 38・46・53 57・64・71	5・8・16 21・28・35 41・45・54 58・62・67	4・11・17 29・38	3・12・21 32・39
鹿児島	7・13・23 30・39・47 56・72	2・18・26 36・40・52 60・69	7・10・18 28・35	4・11・17 29・38
宮 崎	3・11・25 33・43・51 59・65	7・13・23 30・39・47 56・72	1・9・22 30・36	7・10・18 28・35
熊 本	6・17・27 34・37・50 61・68	3・11・25 33・43・51 59・65	8・16・20 27・33	1・9・22 30・36
大 分	1・15・22 29・44・49 55・66	6・17・27 34・37・50 61・68	5・14・23 26・34	8・16・20 27・33
長 崎	2・18・26 36・40・52 60・69	10・14・19 32・42・48 63・70	2・13・19 25・40	5・14・23 26・34
佐 賀	10・14・19 32・42・48 63・70	1・15・22 29・44・49 55・66	6・15・24 31・37	2・13・19 25・40
福 岡	5・8・16 21・28・35 41・45・54 58・62・67	4・9・12 20・24・31 38・46・53 57・64・71	3・12・21 32・39	6・15・24 31・37

18. 様式規定

様式規定 1 アナウンス・朗読部門原稿規定

1-1 表紙

1-2 原稿用紙

様式規定 2 番組部門のラベル規定

様式規定 3 テストパターン (カラーバー)

16:9仕様 (HD・SD)

様式規定 4 番組部門番組進行表

4-1 表紙 (制作意図、スタッフ・キャスト、確認欄)

4-2 CUEシート

4-3 使用著作物一覧

4-4 音源使用許諾申請書 (参考様式)

4-5 取材許諾・著作物等ご提供のお願い (参考様式)

※様式規定 4 の一式はA4サイズ、左上一カ所をホチキスで綴じること。

また、両面印刷はしないこと。

※様式は、第 39 回九州高校放送コンテスト沖縄大会ホームページ

<http://www.hoso-as.open.ed.jp/>

からダウンロードできます。

様式規定 1-2 アナウンス・朗読部門 原稿用紙

20×10
九州高校放送コンテスト

20×10
九州高校放送コンテスト

様式規定2 BD・DVD・CD ラベル規定

サンプルを示します。内容が分かれば、自作してもかまいません。

a) BD・DVD・CD ケースの表に貼付するラベル

第39回九州高校放送コンテスト沖縄大会			
エントリー 番号		県 名	
学校名			
部門名			
作品名			

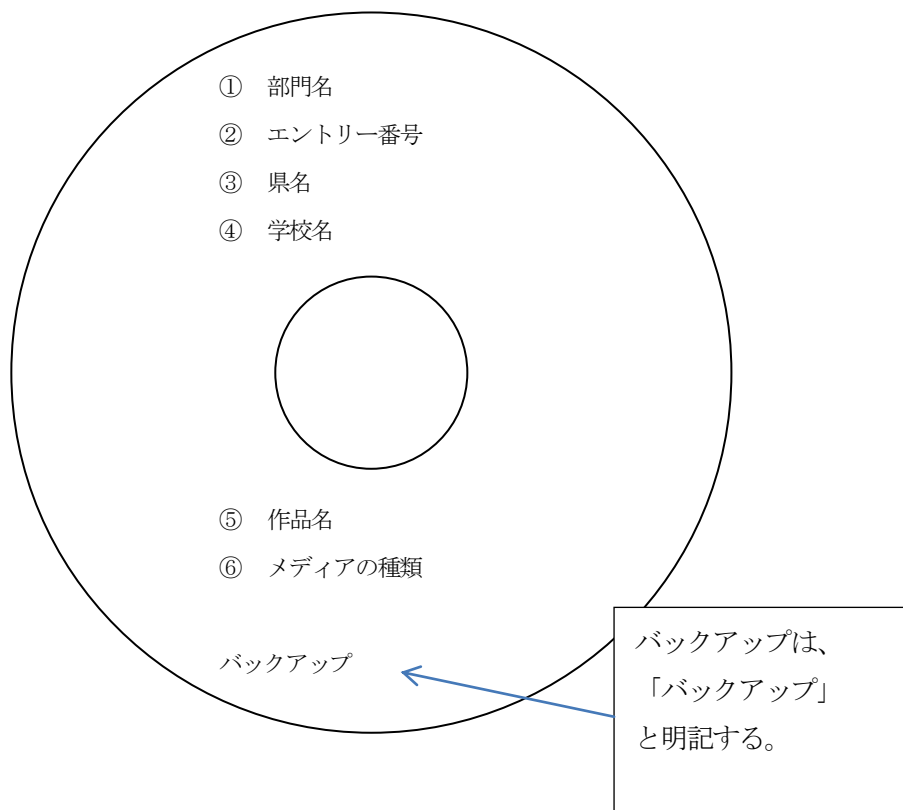
b) BD・DVD・CD 本体

再生トラブル防止のため、シールを貼らないでください。

①部門名、②エントリー番号、③県名、④学校名、⑤作品名、

⑥メディアの種類(CD-R・DVD-R・BD-R)

をプリンターで印字するか、本体表面にマジック等で直接記入してください。



様式規定3 テストパターン (カラーバー)

16:9仕様



番組進行表 表紙

都道府県		部門	エントリー番号						
			記入しないで下さい						
ふりがな									
学校名									
※ 正式名称を記入してください									
ふりがな									
作品名									
※ プログラムには全角15文字までしか表示されません									
				ラジオ番組は赤 テレビ番組は青					
			日本音楽著作権協会						
再生時間		分	秒						
制作意図 [200字程度]									
スタッフ ・ キャスト (キャストはドラマ調の場合のみ)									
確認欄	様式 4-1	様式 4-2	様式 4-3	その他の 許諾書	様式 4-1 ○印色付け	様式 4-4	様式 4-5	CD-R DVD-R BD-R	確認者
出品校									
都道府県 担当者									

※確認後は必ず✓チェックを入れてください。

※Excel (データ入力したものを印刷、もしくは様式を印刷して手書き)

(参考)

CUEシート(記入例)

音声レベル		時間	著作物 No	分類	内 容	注
放送	BG					
		0' 00"			カラーバー ← テレビ番組のみ記入	セリフ等は、最初と最後の文章を記入する。(一文程度。全文を記入してもよい。)
		0' 01"	1	SE	・猫の鳴き声	
		0' 03"		あまね	「〇〇、〇〇〇〇〇〇〇。(中略) 〇〇〇〇〇〇〇〇。」	
		0' 03"		あまね	「〇〇、〇〇〇〇〇〇〇。(中略)	
		0' 10"	2	SE	・猫を抱き上げる音 〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇・・・。」	
		0' 16"	3	SE	・靴音	セリフの途中で効果音が入る場合は、効果音が入る場所が分かるよう記入する。
		0' 17"	4	BGM	・CD「夢 instrumental」	
		0' 20"		タイトルコール	「雨ときどき小雪」	
		0' 26"	5	SE	・効果音集「チャイム」	音楽は、はじまりと終わりの時間を記入する。
		0' 27"	6	SE	・廊下を走る音	
		0' 29"	7	SE	・扉の開閉音	
		0' 31"		あまね	「〇〇、〇〇〇! 〇〇〇!」	
		0' 31"		猫	「×××××。」	
		0' 36"		あまね	「〇〇? 〇? 〇〇... 〇〇〇! ?」	
		0' 42"		ナレーション	「△△△。(中略) △△△。」	
		0' 55"		ナレーション	「△△△。(中略) △△△。」	
		4' 27"	18	BGM	・CD「アーキー スクールライフシリーズ Vol. 2」	
		4' 37"		あまね	「〇〇〇。(中略) 〇〇〇。」	
		5' 02"	19	写真	・猫の写真	
		5' 04"		ナレーション	「△△△。(中略) △△△。」	
		5' 10"	20	新聞記事	・〇〇新聞コラム	写真や新聞記事等の著作物(映像)は、使用開始時間のみ記入する。
		5' 30"				
		5' 32"	21	演奏	・本校吹奏楽部	
		7' 10"	31	BGM	・CD「郷愁」	
		7' 13"	32	SE	・効果音集「雀の鳴き声」	
		7' 15"		あまね	「〇〇〇、〇〇〇、〇〇、〇〇?」	
		7' 23"	7	SE	・扉の開閉音	著作物No.は、様式4-3の著作物番号と一致させること。同一の著作物を複数回使う場合は、著作物No.等、前出のものと同じにする。
		7' 25"	33	SE	・階段を下りる音	
		7' 27"		あまね	「〇〇ー!」	
		7' 33"		ナレーション	「△△△。(中略) △△△。」	
		7' 42"	34	BGM	・CD「光の朝」	
		7' 45"		ナレーション	「△△△、△△△△△。」	
		7' 55"		クレジットコール	「制作は〇〇県立〇〇〇高等学校 放送部でした。」	
		7' 55"		クレジットタイトル	「制作 〇〇県立〇〇〇高等学校 放送部」 ← テレビ番組の場合 カラーバー ← テレビ番組のみ記入	

使用著作物一覧表							
部門名		作品名			学校名		
著作物 番号	分類	著作物名 (曲名・題名など)	著作者名 (作詞・作曲者など)	許諾書	著作隣接権者名 (歌手・演奏者・ レコード会社など)	許諾書	オリジナル の所有者
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

記入について：分類には、CD・音楽・美術品・TV番組等を記入する。
レコード協会に所属するCD会社の著作隣接権の許諾は、使用許諾書(様式自由)を使用し、その写しを添付する。
JASRAC管理の著作物については、〈利用明細書〉の写しを添付する。
JASRAC管理外の著作物については、〈許諾を示すもの〉を添付する。
著作権処置が不要なものについては、番号に○をつける。
著作権フリーなど、著作権処理のいない音源を使用したときは、著作権処理不要〈利用条件〉の書いてある書面のコピーを添付する。
[なお、(株)アーキー・(有)EXインダストリーのは、コピー不要。]

※Excel (データ入力したものを印刷、もしくは様式を印刷して手書き)

音源使用許諾申請書				
[九州高校放送コンテスト] 【録音・録画】				
申込日 平成 年 月 日				
(レコード会社名)		御中		
申請者	住所	〒		
	学校名 団体・法人名			
	代表者名			
	TEL		FAX	
	担当部署		担当者名	印
	連絡先等	(TEL)	(FAX)	
	e-mailアドレス			
使用音源	使用音源タイトル			
	商品(CD)名			
	商品番号		トラック番号	曲目
使用目的 「第38回九州高校放送コンテスト」(高校生自作の[ラジオ・テレビ]番組)に応募し、審査を受けるため(なお、受賞作品として放送・webで公開されることがあります。)				
使用対象	応募作品のタイトル			
	録音録画物の種類	CD-R	DVD-R	BD-R
	録音録画の数量	枚	音源使用時間	秒
<p>.....</p> <p>音源使用申請に対する回答書</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p>				
(学校名)		学校		
(ご担当者名)		殿		
レコード会社		担当部署		
責任者		担当者名	印	
住所	〒			
TEL		FAX		
e-mail アドレス				
上の条件に関し、 A. 残念ながら許諾できません。別の楽曲をお使いください。 B. 下記条件にて複製許諾を承認します。				
〈使用条件〉				

※Excel (データ入力したものを印刷、もしくは様式を印刷して手書き)

取材許諾・著作物等ご提供のお願い

平成 年 月 日

様(御中)

このたびは、九州高校放送コンテストの応募作品にご協力をいただき、まことにありがとうございます。
ご協力をいただく作品につきまして、下記利用方法での活用に承諾をいただきたく、ご依頼申し上げます。
どうかよろしくお願いいたします。

◎ 許諾または提供いただくもの

内容	備考

◎ 依頼者

学校名(団体名) _____
 代表者(顧問)名 _____
 所在地 _____
 連絡先 電話 _____ FAX _____
 担当者(制作者)名 _____
 応募作品名 _____

【利用方法】

① 九州高校放送コンテスト(地区大会・九州大会)での公開
 ② 九州高校放送コンテスト大会事務局による作品の使用
広報、大会のホームページ
 ③ 九州高校放送コンテスト大会事務局による作品の部分使用

太枠内にご記入ください

許諾書

平成 年 月 日

学校名 _____
 担当者名 _____ あて

私は、今回協力する作品やその作品素材の映像・音声保存され、上記の利用方法で活用されることを許諾します。
 なお、この件については、(無償 ・ 次の条件: _____)で許諾することとします。

◎ 許諾者

 ご所属 _____
 ご職位 _____
 ご署名 _____

※Excel (データ入力したものを印刷、もしくは様式を印刷して手書き)